

まきよう通信

Kobe Pharmaceutical University Press Vol.168

2019. 春号

大学の理念

社会に大きく開かれた大学であることを意識し、
創立以来の伝統である教育と研究の両立を基盤としながら、
医療人としての使命感と倫理観を十分に理解し、
高度な薬学の知識を身につけた薬剤師、
並びに教育・研究者を養成すること、
さらに地域の医療と環境問題に目を向けて
健康の維持・増進にも貢献できる拠点となること

教育目標

1. 広い視野を持ち社会に貢献できる高度な薬学の知識と技能を修得すること
2. 医療人としての使命感と倫理観を涵養すること
3. 科学的思考力及び問題の主体的解決能力を修得すること
4. これからの医療と環境を正しく理解し、健康の増進に貢献できる知識を修得すること
5. 医療人として相応しいコミュニケーション能力を修得すること

薬用植物園

ホームページ
リニューアル

2019年4月に薬用植物園のホームページをリニューアルしました。薬用植物の写真とともに、学名、和名、科目などを季節ごとに分けて掲載。薬効なども紹介しており、今後、様々な情報を更新していく予定です。ぜひご覧ください。



薬用植物園トップページ



ホームページは
こちら



卒業生初の学長 宮田 興子

神戸薬科大学をより魅力ある大学に 新学長就任インタビュー

第104回薬剤師国家試験結果報告

研究室探訪 薬剤学研究室／薬化学研究室

神薬ごよみ 〈MANABI白書〉〈Event Report〉〈Information〉

課外活動紹介

大学生活ニュース

研究活動 受賞報告

薬品物理化学研究室 佐野 紘平 講師
製剤学研究室 田中 晶子 特任助教

学生の受賞・表彰

エクステンションセンター



大学認証評価

神戸薬科大学は、公益財団法人大学基準協会による大学評価基準に適合していると認定されています。



6年制薬学教育プログラム評価

神戸薬科大学は、一般社団法人薬学教育評価機構が定める「薬学教育評価 評価基準」に適合していると認定されています。

神戸薬科大学をより魅力ある大学に

2019年4月、宮田興子教授が神戸薬科大学学長に就任しました。

本学初の卒業生かつ女性の学長として、就任への思いから学生時代の思い出、今後のビジョンに至るまでをうかがいました。



学長室にて

大学にかかわる一人ひとりが主体的に考え、発展させる「開かれた大学運営」を目指す

Q 今回、学長に就任された経緯と、今のお気持ちをお聞かせください。

一つめは、学生・そして神戸薬科大学全体をもっと元気にしたいと思ったからです。2006年に6年制の薬学教育が導入されて以来、薬学系大学の教職員や学生は日々の業務や勉強が山積みで、まるで攻立てられているようです。そのため、もう一度原点に戻り、教職員と意見交換をして、学生が学ぶことの喜びを感じられるような教学システムを構築していきたいと考えています。教職員にとっても、本学に籍を置いて仕事をすることによって、生きがいとやりがいを感じることができる職場にしていきたいです。

二つめは、本学に育てていただいた恩返しをしたいという思いからです。学生時代からいろいろな先生に教えていただき、教職員みなさんにも大変お世話になってきました。好きな研究はもちろん、教授退任後も新しい教育法構築のための活動に取り組むことができたのは大学のサポートのおかげです。学長就任後は、教職員、学生、大学にかかわるすべての人と一緒に、本学を「魅力ある大学」にするために尽力します。



満開の桜の木の下で学生たちと

Q これからの大学づくりにおいて、注力していくポイントは？

社会から求められる「魅力ある大学」となるために、第2期中期計画を進めています。私が重点項目に挙げたのは、教育力、研究力、地域貢献力、大学力、そしてそれぞれの充実です。

教育力については、学生の能力に合ったテーラーメイド教育を目指します。知識の詰め込みだけでなく思考力の醸成教育にも力を注ぐ必要を痛感しており、まずは、日々の学修においてアクティブ・ラーニングを学生に定着させたいと考えています。

研究力については、大学は自由な発想による創造的な研究が求められていることから、教員の皆さんとイノベーション創出のための研究を推進します。更に卒業研究、大学院の充実を図ります。

地域貢献力については、教育の機会の提供、地域を支える人材の育成、大学の持つ知的資源の還元の3つを挙げています。前学長に引き続き、これらの点についても注力します。

教育力、研究力、地域貢献力を充実させるマネジメントを構築するためには、管理、運営のガバナンスを強化していく必要があります。これが大学力を充実させることにつながります。様々な人の意見に耳を傾け、それぞれの考えや思いを受止めて、本学にかかわる一人ひとりが、神戸薬科大学が「魅力ある大学」になるために主体的に考え、実行できる環境を整えていきます。

Q 在学生及びこれから学生となる方に期待すること、伝えたいことは？

社会の役に立つ人間になるという気持ちで、学んでください。本学では、毎年95%前後の国家試験合格の実績があります。しかし、薬剤師資格取得は社会に出るための一つの条件に過ぎません。社会に出れば常に新しい課題を超えていくことを求められ、そこには、学んだことを生かし、また学びを深める主体的な姿勢が重要になります。その力を育むために、本学で様々なことにチャレンジしてほしいと思います。多様な研究室が配置されているため、興味を満ちた研究に出会うことができます。大学院の強化も進めていきますので、ぜひ本格的な研究にも取り組んでください。あと、私は学生さんと

話すことが大好きですから、遠慮せず気軽に話しかけてほしいですね。なにより、大学生生活を楽しんでほしいと思っています。

Q 保護者の方々へメッセージをお願いします。

本学では、病院や薬局の薬剤師だけでなく、製薬会社の開発職・研究職・MR職、CROや公務員、更に、研究を深く追求する大学院進学など様々な進路が開けています。そのために、神戸大学などと連携し、薬学の専門性や社会性を育む教育プログラムを整えていますので、安心してお任せください。



Memorial Photo 宮田学長の思い出の写真



薬品化学研究室助手時代
研究室のスポーツ大会にて(前列:右から2人目)



Sir D. H. R. Barton先生 [1918-1998; ノーベル化学賞受賞(1969)]と共に



ドイツ留学時代
Professor. R. R. Schmidt先生のご家族と共に



薬品化学研究室時代のミーティング風景(右から5人目)



平成28年度日本薬学会学術貢献賞授賞式後の記念撮影
(本学名誉教授内藤猛章先生と研究室メンバー)



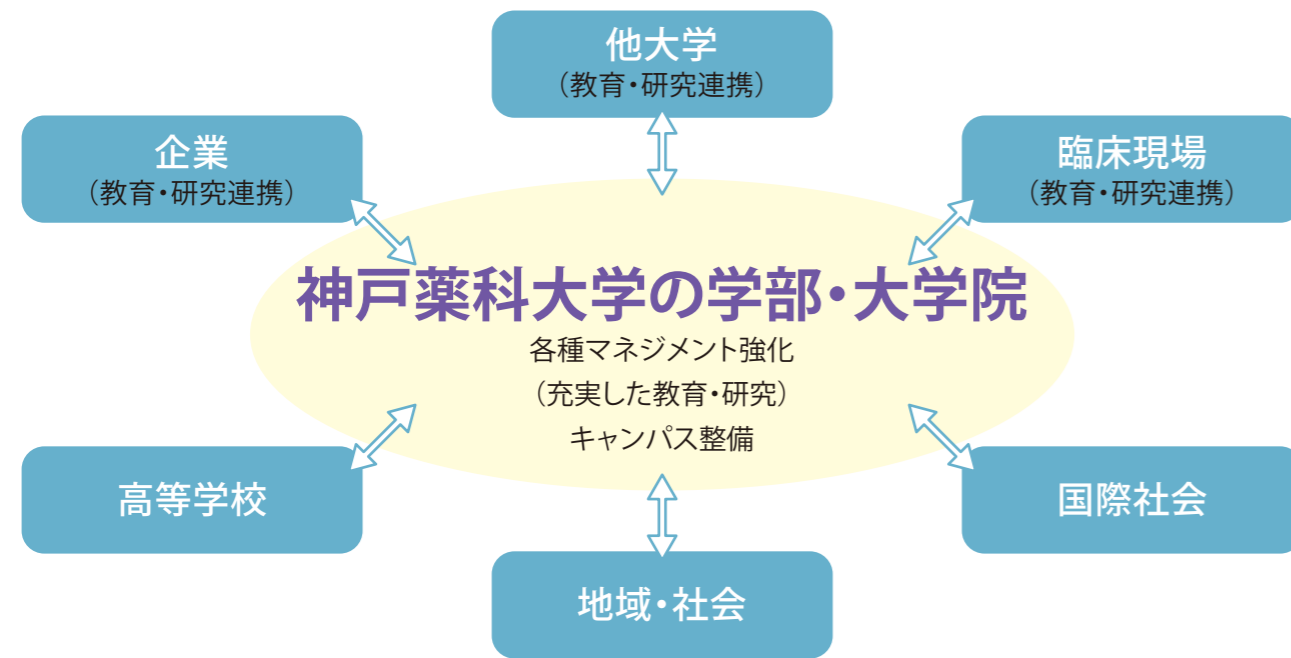
神戸大学工学部、理学部、農学部との研究発表会(上)
研究メンバーと共に(左) 研究室のお花見(右)

卒業生初の学長 宮田 興子

多様な連携を創出し、「輝く大学」の実現を目指す

2019年4月より、神戸薬科大学学長に就任いたしました。北河 修治 前学長は2016年から第1期中期計画(2016～2020年度)に取組まれ、確実に着手してこられた結果、おおむね目的を達成されました。私は第2期中期計画(2019～2021年度)を策定するにあたり、まず、持続的な神戸薬科大学の発展の仕組みを考えました(図1参照)。

図1 持続的な神戸薬科大学発展の仕組み

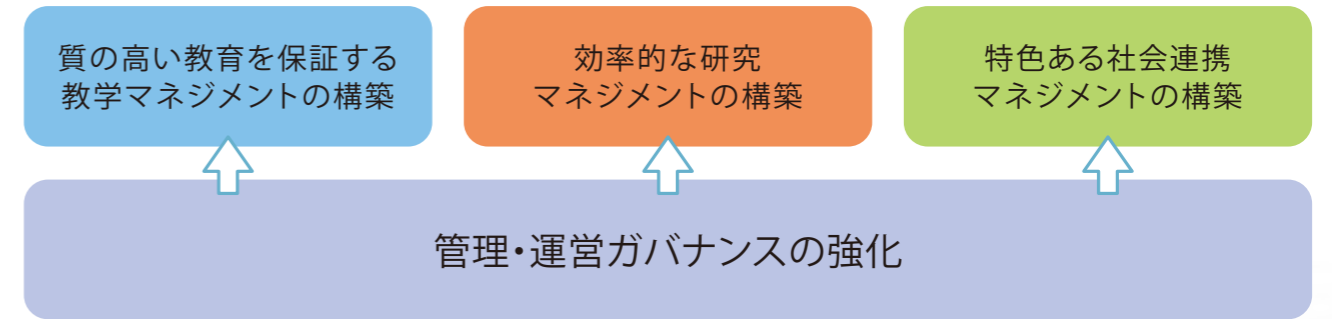


魅力的なキャンパスを創りながら、学内で一丸となって充実した教育・研究を行うことにより、地方にあっても「輝く大学」を実現できると考えています。

本学は薬系の単科大学であり、薬学という学問に特化して効率的に教育できる利点がある一方で、学生の視野が狭くなる懸念があります。これを克服するために、各種有益な連携を創出し、学生に幅広い教育を提供すると同時に、それらの連携を利用することにより、大学の研究力の強化を図りたいと考えています。このような連携構築は、本学自身が社会の中で存在意義を見いだすこととなり、本学の持続的発展につながると言えます。このことを念頭に第2期中期計画を策定しました(図2参照)。

図2 第2期中期計画(2019～2021年度)の基本方針

神戸薬科大学 マネジメント改革



教職員が連携・協力できる「教職協働」による意志決定の仕組みを構築します。その仕組みの上で、現在取組んでいることを分析、改善し、時代に即した新しい取組みを創造することが必要だと考えています。このような管理・運営ガバナンスを強化しながら、3つのマネジメント(教学マネジメント・研究マネジメント・社会連携マネジメント)の再構築、あるいは新たな構築を目指します。

教育に関しては、今後のAI時代を見越し、従来の知識や情報を得る教育から、個々の学生が主体的・能動的に考える力を育む教育に力点を置きます。その一つとして大学院の活性化を推進します。研究に関しては、各研究室の研究を発展させるとともに、教員間連携による新たな研究も始めます。そして、これらを本学の独自性のある新たな取組みにつなげたいと考えています。

社会連携に関しては、長年、薬剤師の生涯研修支援としてエクステンション事業に取り組んでいますが、この活動も更に発展させていきます。同様に、本学の専門性を生かした地域に密着した社会貢献活動を地域連携サテライトセンターで推進します。

今後も高度な教育・研究体制の下、専門性と社会性を兼ね備えた薬学のプロフェッショナルとして社会を牽引する人材の育成を目指します。そのために必要な、学生や教職員にとって有益な教育、研究にかかわる様々な連携を創出していくことが、私の重要な役割と考え、その実現に向けて思いを新たに、日々精進してまいります。



学長 宮田 興子 Okiko Miyata

プロフィール

神戸女子薬科大学大学院(現神戸薬科大学大学院)薬学研究科修士課程を修了。講師、助教授を経て、2008年に薬品化学研究室教授。2016年より、特別教授として薬学総合教育支援に携わるとともに、同大学同窓会長、学校法人神戸薬科大学理事を兼務する。2019年4月、神戸薬科大学学長に就任。第3回有機合成化学協会関西支部賞、平成28年度 日本薬学会学術貢献賞、平成28年 兵庫県功労者表彰(教育功労)などを受賞。

Vol.168 contents

- | | |
|--|---|
| 1 神戸薬科大学をより魅力ある大学に
新学長就任インタビュー | 14 新任者紹介／退職者紹介 |
| 3 多様な連携を創出し、「輝く大学」の実現を目指す
メッセージ 学長 宮田 興子 | 15 課外活動紹介 |
| 5 新体制のお知らせ | 17 大学生生活ニュース 2018年度 卒業生の進路状況
Pick Up キャリアサポート
私の就職対策! |
| 6 第104回薬剤師国家試験結果報告 | 19 大学生生活ニュース 海外薬学研修 |
| 7 研究室探訪 薬剤学研究室／薬化学研究室 | 20 研究活動 受賞報告 薬品物理化学研究室 佐野 紘平 講師
製剤学研究室 田中 晶子 特任助教 |
| 9 神薬ごよみ
(MANABI白書)〈Event Report〉〈Information〉 | 22 学生の受賞・表彰／エクステンションセンター |

新体制のお知らせ

2019年4月からの大学執行部新体制が決定しました。大学の理念に基づく「医療人としての使命感と倫理観を十分に理解し、高度な薬学の知識を身につけた薬のプロフェッショナルの養成」を目指して、新学長のリーダーシップの下、新体制がスタートします。今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



三列目 左から
 施設課長 古田 耕治 総務課長 岸 礼子 経理課長 中山 隆博 事務局次長・学生課長・キャリア支援課長 岡田 功 教務課長 加島 進 企画・広報課長 柳川 貴志

二列目 左から
 薬用植物園長 小林 典裕 キャリア支援部長 向 高弘 学生部長 江本 憲昭 教務部長 坂根 稔康 図書館長 玉巻 欣子 大学院主幹 力武 良行

前列 左から
 副学長(研究担当) 北川 裕之 学長 宮田 興子 理事長 宮武 健次郎 副学長(教育担当)・学生支援センター長 中山 尋量 事務局長 門田 良弘

本年も国家試験の高い合格率を維持

第104回薬剤師国家試験において271名*が合格しました。

本学新卒

93.50%

本学* 87.42% 全国* 70.91%

2019年3月25日(月)、厚生労働省より第104回薬剤師国家試験の合格発表があり、本学は既卒者を含む271名*が合格しました。

合格率の推移

	101回(2016年)	102回(2017年)	103回(2018年)	104回(2019年)
本学*	89.51%	89.26%	85.85%	87.42%
本学新卒	95.02%	95.08%	92.13%	93.50%
全国*	76.85%	71.58%	70.58%	70.91%

*既卒者含む

第104回薬剤師国家試験結果報告

国家試験対策担当者として、第104回薬剤師国家試験の結果について報告いたします。

今回の試験は、2019年2月23日(土)、24日(日)の2日間で実施され、3月25日(月)にその結果が発表されました。厚生労働省の発表では、今回の試験は正答率65.0%以上の得点者を合格としており、これは第101回国家試験より導入された相対基準による合否判定で、最も高い基準値でした。本学の結果は、既卒者を含めた受験者数は310人で、合格者数271人、合格率87.42%で、この合格率は私立薬系大学56校中の6位、国公立を含めて14位の成績でした。また新卒者に限ると合格率は93.50%であり、第101回から4年続けて全国平均を大きく上回る高い合格率を維持できたことは喜ばしいことです。

今回の問題の難易度については、全体としては第103回より少し易しいとの印象を受けます。特に必須問題が平易であり、ここでいかに得点するかが、合否に重要だったと思われます。一方で理論問題は、科目の壁を超えた連問や思考力を問う難易度が高めの問題がいくつか出題されました。また、実践問題では、主要8疾患に関する出題が多く、新しいモデル・コアカリキュラムを意識させるものでした。

このように国家試験問題も、薬剤師に求められる「総合的な力」を測るものが多くなるとは思われますが、今後も高い合格率を維持すべく国家試験対策に取り組みますので、皆様のご協力のほど、よろしくお願いいたします。



薬剤師国家試験対策委員会委員長 小山 豊



薬剤学研究室

【スタッフ】大河原 賢一 教授 上田 久美子 講師 細川 美香 講師 田中 章太 特任助教
 【学 生】4年:14名 5年:17名 6年:12名



地元ヴィッセル神戸のホームゲームを観戦



薬化学研究室

【スタッフ】奥田 健介 教授 高木 晃 助教 高嶋 一平 特任助教
 【学 生】4年:12名 5年:12名 6年:6名



奥田 教授

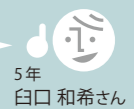
研究テーマ 病態・生命機能解明のための機能性分子の創製

低分子有機化合物を用いて生命現象を解明することは、創薬研究に直結します。また、ユニークな活性評価系を有し、生物活性を持つ新規有用物質の探索を行うことは、新薬開発にとっては重要な方途です。このような観点の下、薬化学研究室では、「病態・生命機能解明のための機能性分子の創製」を介した創薬化学・ケミカルバイオロジーを指向した研究を行っています。

研究活動で課題発見・問題解決能力を培い、社会で生かそう

学生には、研究を深いレベルで理解し責任を持って取り組むこと、研究成果を適切にまとめて発表し批評を仰ぐこと、それらの過程を通じて社会で通用する能力を身につけること、を目指してはほしいと思っています。卒業後どのような進路に進むとしても、研究活動で培った課題発見・問題解決能力は役に立つはずですよ。

先生方のよさは…
 ここでは文字数が
 足りません!



5年 白口 和希さん

奥田先生は丁寧に質問に答えてくださり、実験の手技も段階を追ってわかりやすく教えてくださいました。高木先生は実験の枠を超えた多くの知識でアドバイスをくださいます。他にもあるのですが、文字数が……。

研究室の雰囲気は…

1人が1つの研究テーマを責任を持って取り組んでいます。とても明るい学生が多く、研究がうまく進まなくても持前のポジティブさで粘り強く実験をしています。時々にぎやか過ぎることもありますが、研究に限らず何事も楽しみを見いだしながらやれることは強みだと思います。その強みを伸ばせるように、一緒に頑張っていきたいと思っています。(高木助教)



研究テーマ 薬物動態制御因子の理解と調節に基づいた新規がん薬物療法の開発

抗がん剤が薬として適切に機能するためには、がん細胞に分布する必要があります。それ以外の正常組織に分布した抗がん剤は脱毛などの副作用の原因となります。薬剤学研究室では、一例として、抗がん剤の体内での動き(体内動態)を制御することによって薬の作用を適切に引き出すことを目指した研究を進めています。

能動的に考え、自分から行動を起こすことのできる薬剤師の育成を目指す

受け身で指示を待つのではなく、能動的に考え、自分から行動を起こすことのできる薬剤師を育成したいと考えています。仮説の立案とその実証の繰り返しが研究です。卒業研究を通じて、将来、現場に出た時に必要となる問題解決能力を養ってほしいと思っています。

研究室の雰囲気は…

明るくにぎやかな学生が多く、毎日楽しく実験しています。学生間の仲がととよく、先輩が後輩の面倒を見ている場面も多く見かけます。新しい発見を目指し、教員、学生が一丸となって、日々奮闘しています。(上田講師)



大河原 教授

大河原先生は
 学生思いの
 熱心な先生です



6年 中川 愛子さん

研究室の先生方は優しく熱心です。大河原先生は昨年着任されたばかりですが学生との距離が近く、気さくに話しかけてくださいます。みんなメリハリを大切に、和気あいあいと研究をしています。

神薬ごよみ

学内のこれからの取組みを
3つのコンテンツでお届けします

MANABI白書
学生の学習・実習報告

Event Report
半期の主な学内イベント

Information
今後の行事・学内外のニュース

神薬ごよみ MANABI白書

薬学へようこそ!

授業
PICK
UP

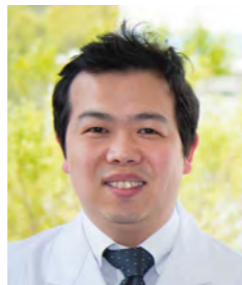
薬学入門 (1年次前期)

薬学入門には、薬学のエッセンスがたくさん入っています。
新1年生の皆さんに薬学部の面白さ、楽しさを味わってもらいたい、そんな時間です。

この科目では、解熱鎮痛薬(熱を冷まして、痛みを除く薬)として、また、抗血栓薬(血を固まりにくくして、心筋梗塞、脳梗塞を予防する薬)として有名なアスピリンを主に取上げています。前半9回は、有機化学、物理化学などの基礎薬学から、薬理学や薬剤学などの基礎と臨床をつなげる科目、現役の医師、薬剤師による臨床薬学まで網羅したオムニバス講義です。駆足ですが薬学の世界一周をしてもらいます。後半3回は、仲間とともにグループで、これまでの人生経験やオムニバス講義で勉強したことを使って、アスピリンに有機的な修飾を施した未知なるアスピリン誘導体「Beyond the アスピリン」について考えて、話合っ、皆さんだけの結論を導いてもらいます。薬効は?どのように患者さんに使う?注射?塗り薬?患者さんへの説明は?そしてメリットは?すべて答えは決まっています。皆さんの自由な、しかし論理的な発想が新しい答えになっていきます。大学そして社会では、皆さんがこのようなわくわくする課題に取り組んでいくことになる、その入門になります。

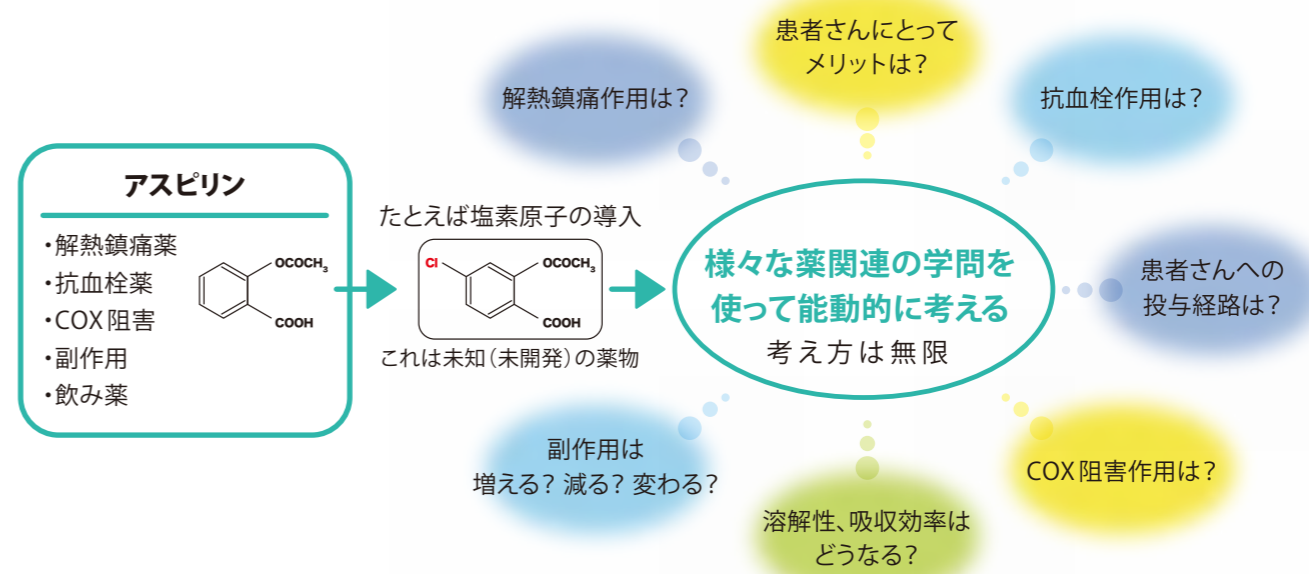
この科目は、前学長 北河 修治先生のコンセプトの下で、担当教員が皆で作ってきたものです。また、毎年先輩方のアンケートの協力によって、改善が重ねられて、皆さんに実施されています。今年度からは、新学長 宮田 興子先生が加わり、更にパワーアップしています。

新1年生の皆さん、「薬学入門」を楽しみながら勉強していきましょう。



薬理学研究室
准教授 八巻 耕也

Beyond the アスピリン



学生インタビュー

用法・用量を守って薬を使用することの意義を学びました。同じ薬を服用するとしても、体重や年齢で用法・用量が違うことがあります。なぜ15歳未満の子どもは大人と同じ薬を服用してはいけないのか?もし間違えて服用したらどうなるのか?といった疑問を、順を追って一つひとつ理解しながら学びました。



2年 高橋 大さん

薬学入門を受講して

Q1 「薬学入門」でどのようなことを学びましたか?

薬学が様々な科目と関連しているということです。各科目の先生が毎週順番に講義して下さるので、モデルとなる薬物を違った目線で見ることができました。また、グループディスカッションや発表を通じて、自分の意見を発することや、皆の意見をまとめて発表することも経験し、コミュニケーションの大切さや難しさも学びました。



2年 高橋 彩加さん

Q2 1年次に「薬学入門」を学んでよかったことは?

薬学生の1年目に「薬学」を学べたことは、今まで知らなかった新しい世界に触れるようで、よい刺激になりました。これから様々な専門分野を学んでいくことを考えると、頭も気持ちも新鮮な1年次のうちに、それぞれの科目の特徴を知ることができたのは、今後の学修が取り組みやすくなるよいきっかけになると思います。

1年次のうちに、これから学ぶ科目が将来どのように役立つかを知ることは、なぜこの科目を勉強するのだろうという疑問がなくなり、勉強のモチベーションにつながると思います。アクティブ・ラーニングの授業だったこともあり、ディスカッションや発表を経験できたことも、これからの学修に生きると思います。

2019年
3月7日(木)

学部卒業式・大学院修了式

学部246名、大学院博士課程2名、修士課程2名の皆さん
ご卒業、修了おめでとうございます。



2019年
4月2日(火)

学部入学式・大学院入学式

学部287名、大学院博士課程6名、修士課程1名の皆さん
ご入学おめでとうございます。



2018年
10月

臨床・基礎薬学連携シンポジウムを開催

2018年10月21日(日)、本学5号館ききょう記念ホールにおいて「臨床・基礎薬学連携シンポジウム」を開催しました。

「臨床から基礎までをつなぐ新しい薬学教育のあり方～基礎薬学を臨床現場で活かすコツ～」をメインテーマに、大学の先生方や臨床現場で薬剤師として活躍されている先生方と「新たな薬学教育の構築」を目指して発信した、本学の新しい取り組みです。当日は200名以上の方が参加されました。今後このような取り組みを続けてまいります。



● 講演

「患者さんに寄り添うサイエンティストとして活躍するために～物理系薬学の立場から～」……学長 北河 修治
「薬の顔相学～薬剤師にしかできない医療への貢献～」……徳島大学大学院医歯薬学研究所 教授 大高 章氏
「出口の見える有機化学～研究する薬剤師を育てるために～」……東京理科大学薬学部 教授 高橋 秀依氏
「医療安全の肝腎要は薬剤師」……千葉大学医学部附属病院薬剤部 教授・部長 石井 伊都子氏
「薬局での有機化学を活かした働き方」……株式会社杏林堂薬局 ハーバル薬局 勤務薬剤師 富田 淑美氏
「臨床から基礎までをつなぐ新しい薬学教育を目指して」……本学 臨床特命教授 山本 克己

● パネルディスカッション

「テーマ1：臨床の諸問題を基礎薬学の知識でどのようにひも解くか」
「テーマ2：臨床から基礎までをつなぐ薬学教育をどのように構築するか」

登壇：学長 北河 修治、教授 力武 良行、教授 小山 豊、教授 國正 淳一、特別教授 宮田 興子、
臨床特命教授 山本 克己、講師 土生 康司



(所属・役職は講演時のものです)

2019年
4月

「KPU 電子図書館」サービス開始



2019年4月より「KPU 電子図書館」のサービスを開始しました。「KPU 電子図書館」は、本学学生・教職員・その他本学構成員を対象とした、365日・24時間、「いつでも」「どこでも」自分のスマートフォンやタブレット、パソコンから電子ブックを借りて読むことができるクラウド型の電子図書館サービスです。図書館に行かなくても電子ブックの貸出・返却・予約・貸出延長ができるうえ、期限になると自動的に返却になり延滞の心配がありません。現在、就職活動の関連図書や旅行書、英語多読書、気軽な読み物など約200タイトルを利用することができます。図書館利用の新しいかたちを体感してください。

12月

- 9日 4年 薬学共用試験 OSCE 本試験
- 10日 5年 集団面接・グループディスカッション実践トレーニング

2019

1月

- 8日 後期定期試験(8日間)
- 19・20日 大学入試センター試験
- 22日 4年 第1回就職ガイダンス/単位制インターンシップガイダンス
- 24・25日 4年 薬学共用試験 CBT 本試験

2月

- 4日 一般入学試験・前期
- 7日 5年 第5回就職ガイダンス/仕事研究講座 I
- 11日 一般入学試験・中期
- 13日 仕事研究講座 II・III
- 16日 5年 病院実習・薬局実習(III期報告会)
- 18日 後期追再試験(7日間)
- 23・24日 第104回薬剤師国家試験
- 24日 3・4年 海外薬学研修[ポストン]出発(13日間)
- 25日 4年 病院実習・薬局実習(1期)
- 27日 5年 集団面接・グループディスカッション実践トレーニング

3月

- 3日 第2回兵庫県薬剤師会・病院薬剤師会・薬系五大学連携学術大会
- 7日 平成30年度学部卒業式・大学院修了式
- 8日 一般入学試験・後期
- 3・4年 海外薬学研修[ポストン]帰着
- 12・13日 5年 学内就職フェア
- 26日 第104回薬剤師国家試験合格発表

4月

- 2日 入学式
- 4日 4年 単位制インターンシップガイダンス
- 5日 前期開講日
- 12日 6年 病院ガイダンス
- 6年 第7回就職ガイダンス
- 20日 4・5年 海外薬学研修報告会
- 21日 4・5年 公募制インターンシップガイダンス
- 4・5年 ビジネス・マナー講座
- 4・5年 「インターンシップ」エントリーシートの書き方ガイダンス
- 27日 第87回創立記念日

5月

- 18日 第20回公開市民講座
- 23日 第2回就職ガイダンス
- 26・6/1・2日 第45回卒業後研修講座
- 27日 5年 病院実習・薬局実習開始(2期)



OPEN
CAMPUS
2019

高校生や保護者の皆さんの積極的な
ご参加をお待ちしています。

7月27日(土)
7月28日(日)
8月4日(日)
10月5日(土)※

※大学祭「さきょう祭」も開催します



入試情報サイト

詳細は本学ホームページ入試情報サイトを確認ください

人事・受賞者・寄付金受納

【人事】

●採用
特任教授 濱口 常男(薬学臨床教育・研究センター)
助教 池田 義人(医薬細胞生物学研究室)
助教 安井 基博(薬品化学研究室)
特任助教 高嶋 一平(薬化学研究室)
特任助教 木口 裕貴(生命分析化学研究室)
客員教授 古屋 敦智之
客員教授 的崎 尚
客員教授 南 康博
客員教授 矢野 育子
事務員 向井 彰浩(学生部学生課)
事務員 平松 亮二(事務局総務課)
非常勤職員(薬剤師レジデント) 穂原 裕奈(アドバンスコース)
非常勤職員(薬剤師レジデント) 松本 由季
非常勤職員(薬剤師レジデント) 村川 亜光
非常勤職員(薬剤師レジデント) 森岡 朝美
以上2019年4月1日付

(依願退職)
准教授 波多江 崇(薬学臨床教育・研究センター)
講師 八木 敦子(臨床薬学研究室)
事務員 津田 康裕(学生部学生課)
(期間満了)
非常勤職員 穂原 裕奈(薬剤師レジデント)
非常勤職員 榎本 彩花(薬剤師レジデント)
非常勤職員 菅生 有夏(薬剤師レジデント)
以上2019年3月31日付

●昇任
講師 細川 美香(薬剤学研究室)
講師 増田 有紀(微生物化学研究室)
講師 堀部 紗世(医療薬学研究室)
助教 森田 いずみ(生命分析化学研究室)
課長 古田 耕治(事務局施設課)
課長 柳川 貴志(事務局企画・広報課)
主査 石井 知恵(事務局総務課)
以上2019年4月1日付

●異動
講師 西山 由美 医薬細胞生物学研究室(薬用植物園兼務)→薬用植物園
講師 藤波 綾 病態生化学研究室→薬学臨床教育・研究センター
事務局次長、課長 岡田 功
事務局企画・広報課→
学生部学生課、キャリア支援部キャリア支援課
課長 柳川 貴志 教務部教務課→事務局企画・広報課
以上2019年4月1日付

●就任
学長・教授 宮田 興子
副学長(教育担当) 中山 尋量

副学長(研究担当) 北川 裕之
学長特命補佐(生涯研修支援事業、自己点検・評価担当) 岩川 精吾
学長特命補佐(薬学基礎教育センター-基盤教育部門活動支援) 小山 淳子
学生支援センター長 中山 尋量
教務部長 坂根 稔康
学生部長 江本 憲昭
キャリア支援部長 向高 弘
入試部長 小西 守周
図書館長 玉巻 欣子
薬用植物園長 小林 典裕
教授会議長 内田 吉昭
大学院主幹 力武 良行
薬学臨床教育・研究センター長 國正 淳一
地域連携サテライトセンター長 宮田 興子
エクステンションセンター長 宮田 興子
舎監 安岡 由美
楳栗校友会連絡係 玉巻 欣子
内部監査担当者 畑 公也
内部監査担当者 藤原 知子
以上2019年4月1日付

●名誉教授称号授与
神戸薬科大学名誉教授 北河 修治
以上2019年4月1日付

<受賞・受賞・表彰>

講師 佐野 紘平(薬品物理化学研究室) 第15回日本核医学会研究奨励賞(最優秀賞) 2018年11月17日付
2019年度日本薬学会奨励賞 2019年3月20日付
特任助教 田中 晶子(製剤学研究室) Global Education Seminar Presentation Award 2018 2019年2月6日付

<寄付金>

池野 隆光様 金一封
クオール株式会社 金一封
株式会社大新堂 金一封
同窓会 金一封

<物品寄付>

故 武蔵 彬彦・武蔵 和子様 サクラ・ショウゲツ1本
故 三谷 拓史様 サクラ・シロタエ1本
第65回学部卒業生一同 サクラ・ジンダイアケボノ1本
北河 修治 名誉教授 サクラ・フゲンソウ1本

新任者紹介 よろしくお願いたします



医薬細胞生物学研究室
池田 義人 助教



薬品化学研究室
安井 基博 助教



薬化学研究室
高嶋 一平 特任助教



生命分析化学研究室
木口 裕貴 特任助教



学生課
向井 彰浩 事務員



総務課
平松 亮二 事務員

退職者紹介 お世話になりました



北河 修治 学長・教授



薬学臨床教育・研究センター
濱口 常男 教授



田中 研治 特別教授



薬学臨床教育・研究センター
韓 秀妃 臨床特命教授



施設課
秋山 幸宏 課長



キャリア支援課
三木 宏之 課長



総務課
藤塚 雅弘 課長補佐

※役職名は退職時

課外活動紹介

学生の多くは、授業や実習、研究と両立させながら、積極的にクラブ及び同好会活動に参加しています。今号では、本学が公認するクラブ及び同好会を紹介します。新入生の皆さんは入部の参考にしてください。クラブ活動が学生生活を有意義なものにしてくれるはずです。

クラブ一覧

- 運動部** ▶ バレーボール部 / バドミントン部 / 男子バスケットボール部 / 女子バスケットボール部 / 硬式テニス部 / ソフトテニス部 / 卓球部 / 陸上競技部 / サッカー部 / 野球部 / スケート部 / 洋弓部 / 水泳部 / ダンス部
- 文化部** ▶ 生薬部 / 吹奏楽部 / 箏曲部 / ギターマンドリン部 / 茶華道部 / 美術部 / ユースホステル部 / 軽音楽部
- 同好会** ▶ スノーボード同好会 / フットサル同好会 / IPW同好会 / SLT同好会 / EBM研究会 / かるた同好会 / 競技ダンス同好会

ユースホステル部 部員15名

アウトドア体験や旅行を主にする部活です!



美術部 部員26名

制作範囲は描画、工芸、手芸と多彩。自宅での創作活動もOK。個々で自由に美を追求しています。



スケート部 部員5名

ほぼ全員が初心者です! 和気あいあいとした雰囲気の中、スピンやジャンプの習得にがんばっています!



SLT同好会 部員7名

週1回1時間ほど、雑談をしながらプレゼンやディスカッションの練習をしています。



バドミントン部 部員62名

私達は60人以上の部員を擁し、日々楽しく活動しています。



箏曲部 部員3名

週一でまったりと楽しく練習しています。初心者も大歓迎です!



生薬部 部員14名

薬学生らしく生薬やハーブを学び、地域交流も行っています。



茶華道部 部員26名

和気あいあいとした雰囲気の中、和菓子をいただきながら和の心を学んでいます。



バレーボール部 部員16名

初心者大歓迎!! 楽しくバレーしましょう!



ギターマンドリン部 部員15名

定期演奏会に向けて、仲良く楽しく活動しています!



ききょう祭実行委員会

メンバー 48名

一緒に最高の思い出を作りませんか? あなたの企画が実現できちゃうかも! ききょう祭を全力で楽しみましょう!



卓球部 部員26名

初心者、経験者問わず皆で楽しく活動しています!



水泳部 部員14名

西日本コメディカル優勝を目標に、学年関係なく仲良く楽しく活動しています!



吹奏楽部 部員22名

音楽、楽器に興味のある方はぜひ一度部室に来てください!



ダンス部 部員28名

新しいことを始めたいあなた、私たちと一緒に踊ってみませんか?



洋弓部 部員10名

初心者大歓迎! 大学から新しい経験を一緒にしませんか?



競技ダンス同好会 部員3名

今年度新しくできた競技ダンス同好会です! この機会に、パーティダンスなどを一緒に楽しみませんか?? 未経験も大歓迎!



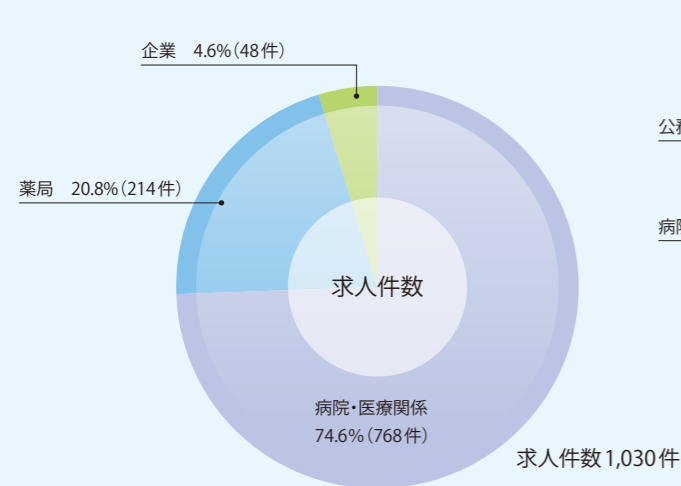
野球部 部員27名

先輩後輩仲良く活動しています! ぜひ一緒に一部リーグ目指して頑張りましょう!

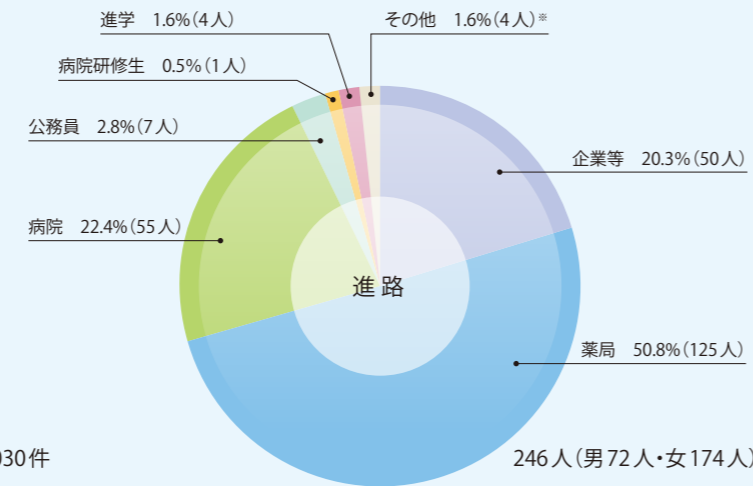


★ ★ ★ 大学生生活ニュース

2018年度 本学への求人状況



2018年度 卒業生の進路状況



※就職する意思のない者・留学・自営及び資格取得希望者

(2019年5月1日現在)

2018年度 卒業生の主な就職先一覧 (50音順)

<p>【病院】</p> <p>社会医療法人 愛仁会 社会医療法人 明石医療センター 特定医療法人中央会 尼崎中央病院 日本赤十字社 伊勢赤十字病院 社会福祉法人 恩賜財団 大阪府済生会茨木病院 医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院 JCHO 大阪病院 株式会社互恵会 大阪回生病院 医療法人 警和会 大阪警察病院 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター 薬剤師レジデント 医療法人 川崎病院 学校法人 川崎学園 医療法人 徳洲会 岸和田徳洲会病院 公益財団法人 田附興風会 医学研究所 北野病院 北播磨総合医療センター JCHO 京都鞍馬口医療センター 日本赤十字社 京都第二赤十字病院 京都府立医科大学附属北部医療センター 公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 社会医療法人全仁会 倉敷平成病院 高知赤十字病院 神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤師レジデント 神戸大学・神戸薬科大学 薬剤師レジデント 一般財団法人 神戸マリンズ厚生会 神戸マリンズ厚生会病院 独立行政法人国立病院機構 近畿グループ 兵庫県立こども病院 薬剤師レジデント 平成医療福祉グループ 堺平成病院 社会医療法人美杉会 佐藤病院 JCHO 滋賀病院 島根大学医学部附属病院 昭和大学病院 薬剤師レジデント 社会福祉法人 聖隷福祉事業団</p>	<p>特定医療法人久会 函南病院 社会医療法人生長会 阪南市民病院 兵庫医科大学病院 社会医療法人生長会 府中病院 社会医療法人生長会 ヘルランド総合病院 三豊総合病院 社会医療法人景岳会 南大阪病院 医療法人 明和病院 社会医療法人弘道会 守口生野記念病院 淀川キリスト教病院 薬剤師レジデント 洛和会ヘルスケアシステム 一般財団法人甲南会 六甲アイランド甲南病院 日本赤十字社和歌山医療センター</p> <p>【薬局】</p> <p>株式会社アインホールディングス 株式会社アカカベ 株式会社アビスファーマシー 株式会社アルカ アルカ調剤薬局 株式会社ウィーズ ウエルシアホールディングス株式会社 株式会社杏林堂薬局 株式会社キリン堂 株式会社クスリのアオキ 株式会社すくりの福太郎 株式会社グッドプランニング 株式会社グリーンメディック 有限会社グローバル薬局 株式会社ケイ・クワイエット 株式会社ココカラファインヘルスケア ゴダイ株式会社 株式会社サエラ サエラ薬局 クラフト株式会社 さくら薬局 株式会社ストーン・フィールド サン薬局</p>	<p>株式会社サンドラッグ 株式会社エム・エス経営企画 サンヨー薬局 株式会社スギ薬局 総合メディカル株式会社 株式会社ツルハ 株式会社ティエスプラン 日本調剤株式会社 日本メディカルシステム株式会社 有限会社ハートフルケア 株式会社阪神調剤薬局 ファーマライズホールディングス株式会社 株式会社大新堂 フタツカ薬局 株式会社フロンティア 法円板メディカル株式会社 株式会社ぼらうしや薬局 株式会社マツモトキヨシ 株式会社マリオングループ 株式会社いしくら まるや薬局 株式会社ミズ 溝上薬局 株式会社ミック 株式会社ユー・アイファーマシー</p> <p>【公務員】</p> <p>大阪府職員 市立池田病院 鳥取県職員 兵庫県職員 松江市立病院</p> <p>【企業等】</p> <p>株式会社アイコン・ジャパン アステラス製薬株式会社 アストラゼネカ株式会社 アルフレッサ株式会社 イーピーエス株式会社</p>	<p>日本イーライリリー株式会社 株式会社インテリム エーザイ株式会社 エイツーヘルスケア株式会社 株式会社LSIメディエンス 大塚製薬株式会社 株式会社大塚製薬工場 小野薬品工業株式会社 神戸天然物化学株式会社 興和創薬株式会社 塩野義製薬株式会社 シミックホールディングス株式会社 株式会社新日本科学PPD 株式会社スズケン 全日本空輸株式会社 第一三共株式会社 大日本住友製薬株式会社 田辺三菱製薬株式会社 中外製薬株式会社 東洋製薬化成株式会社 ニプロファーマ株式会社 バレクセル・インターナショナル株式会社 PRAヘルスサイエンス株式会社 久光製薬株式会社 藤本製薬株式会社 武州製薬株式会社 株式会社ミクシィ 株式会社桃谷順天館 株式会社リニカル ロート製薬株式会社 株式会社ワールドインテック R&D 事業部</p>
--	--	--	---



キャリアサポート

模擬面接・模擬グループディスカッションに参加しましょう!

5年次生を対象に「模擬面接」「模擬グループディスカッション」を実施しています。外部講師による実践練習は、本番さながらの雰囲気を経験できます。

模擬面接では、入室のマナーや受答の注意点を確認するなど、面接という場を正しく理解します。採用担当者がどのような意図で質問しているかを学ぶことができるほか、自分の経験を振り返る機会にもなります。

模擬グループディスカッションは、与えられたテーマについて討論し、発表までを練習します。面接経験の豊富な講師からフィードバックを受けることができるため、実際の採用試験に生かせるポイントを学べます。リーダーシップを取ったり、積極的に発言したりすることが苦手という人も、他者とトレーニングをすることで上達します。

集団面接やグループディスカッションは、1人で練習することができません。この機会を有効に活用し、就職活動に役立ててください。



わからないことがあれば
キャリア支援課まで
相談に来てください

私の就職対策!

キャリア支援課や先生に相談しよう!

キャリア支援課のスタッフの方や先生に積極的に相談したことです。スタッフの方には、苦手だった自己分析や採用試験の小論文対策をサポートしていただきました。内定先での勤務経験がある先生には仕事内容や研修制度を聞くことができ、とても参考になりました。

就職活動中のご家族は?

就職活動の状況が心配で、よく「大丈夫?」と聞かれました。実はその言葉が重圧に感じることもあったので、できれば見守る姿勢でいてくれるとうれしいですね。



鶴村 真大 さん
2019年3月卒
勤務先
医療法人警和会
大阪警察病院

積極的な交流で就職活動の情報を得よう!

学内外の人々と交流し、幅広い情報や知識を得ました。5年次の病院実習で知り合った現役のMRの方には、仕事内容や就職活動について相談。学外の学生とも積極的に交流し、情報交換をしました。キャリア支援課の方々のアドバイス、MRを志望する学生同士の勉強会も役立ちました。

就職活動中のご家族は?

両親は、アドバイスはしても最後に決めるのは私自身というスタンスでしたが、社会の先輩として、私の言葉遣いやエントリーシートに対する父の助言はとても役立ちました。



有沢 成美 さん
2019年3月卒
勤務先
塩野義製薬株式会社

★ ★ ★ 大学生生活ニュース

海外薬学研修

2019年2月24日(日)～3月8日(金)

先進医療の中心地、アメリカのボストンで薬学に触れる

病院や薬局、医薬品開発の研究機関を訪ねるほか、マサチューセッツ薬科健康科学大学(MCPHS)で講義を受けたり、同大学の学生と交流を深めたりするなど、海外の薬学教育に触れる機会を設けています。



3日目
日本でまだ数少ない手術室専任薬剤師Audreyさんの講義。



5日目
MCPHSの模擬薬局でEmergency Boxに薬を詰める実習を体験



6日目
ボストンの製薬会社勤務の辰田さんによる講義。世界の創業の市場や発展のプロセス、今注目されている薬について聞きました。



4日目
英語でプレゼンテーション！



7日目
同行いただいた田内先生と玉巻先生を送る会！



10日目
MGH医学博物館で、昔の手術道具などを見学



11日目
クロージングセレモニーで修了証書をいただきました

topics 「海外薬学研修助成費」授与式



海外薬学研修に先立つ2019年2月8日(金)に、参加者14名に対して研修助成費の授与式を行いました。

参加学生の声

薬学を学ぶ姿勢が大きく変わる海外薬学研修

将来、日本だけでなく海外でも活躍できる薬剤師になりたいと参加しました。アメリカの学生や薬剤師の意識の高さに触れ、勉強への取組み意識が変わりました。特に印象に残ったのは、日本ではまだ少ない手術室専任薬剤師Audreyさんの話です。手術室薬剤師は、的確な判断を瞬時に下すため幅広く深い知識が必要であり、そのために毎日学び続けなければならないと話されました。熱心な話し方から、誇りを持って仕事に向き合っていることが伝わりました。この研修では、たくさんの貴重な体験ができ、様々な角度から薬剤師の在り方を考えるきっかけがくれます。物事を捉える視点が大幅に広がり、薬学を学ぶ姿勢が大きく変わったと感じます。少しでも興味がある方は是非勇気を持って参加してほしいです。



5年 金ヶ江 舞香さん

My favorite photos



現地の学生との交流は楽しかったです。英語にジェスチャーを交えたり、顔で感情を伝えたりと、全力を尽くして会話をしました。これは本当に楽しくて、忘れられない思い出です。

参加学生による現地レポートを公開中



宿泊した寮のRA(レジデント・アシスタント)のジャズミンさんと食事に出かけました。



研究活動

受賞報告 薬品物理化学研究室 佐野 紘平 講師

第15回日本核医学会学術総会において研究奨励賞(最優秀賞)を2018年11月17日付で受賞しました。

受賞タイトル

"Brachytherapy with intratumoral injections of radiometal-labeled polymers that thermoresponsively self-aggregate in tumor tissues."



薬品物理化学研究室 佐野 紘平 講師

がん組織での放射能滞留固定化手法の開発

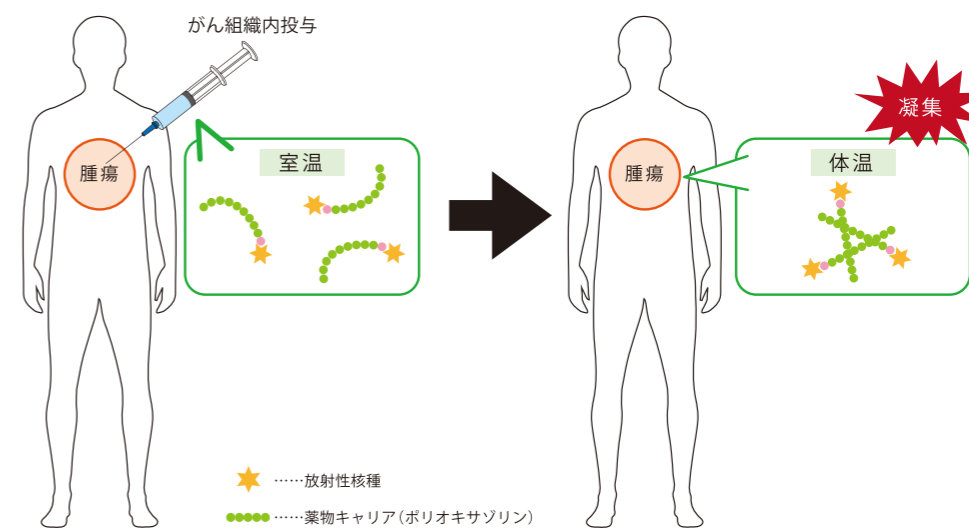
放射線療法の一つである小線源療法は、治療用の放射性同位元素を封入したチタン製カプセルをがん組織内に留置し、局所的に大線量の放射線を照射するがん治療法です。正常組織に与える不必要なダメージは少なく、長期間抗がん作用が持続することから、特に前立腺がんに対して臨床的に高い治療効果が示されています。

しかしながら、小線源療法は線源の留置操作が非常に煩雑であり、線源が他の正常組織へ移動する可能性があることなどの問題を抱えています。私は、これらの問題を解決するために、がん組織での放射能滞留を固定化できる簡便な手法の開発に取組み、この研究で得られた成果に対して、「Brachytherapy with intratumoral injections of radiometal-labeled polymers that thermoresponsively self-aggregate in tumor tissues」というタイトルで、第15回日本核医学会研究奨励賞(最優秀賞)(2018年11月17日付)を受賞しました。

研究成果

左記の通り、がん組織での放射能滞留を固定化しうる簡便な手法の開発を目的として、室温では溶解状態を保つ一方で、がん組織内に投与後、体温を感知して凝集・滞留するインジェクタブル小線源療法用薬剤の開発を行いました。すなわち、体温条件で凝集する放射性標識ポリマー(ポリオキサゾリン)を新たに設計・合成しました。この薬剤を体温と同じ36-37℃に加熱したプレート上に滴下すると、1秒以内に凝集することを確認しました。次に、ヒト前立腺がん細胞を移植した胆がんマウスのがん組織内に投与した結果、投与1週間後においても放射能はがん組織内に高く滞留していました。そこで、治療実験を実施した結果、投与する放射線量依存的ながんの増殖抑制効果及び生存率の延長効果が示されました。一方で、正常組織に対するダメージは認められず、安全性の高い治療法であることを示しました。以上の結果より、放射性標識ポリオキサゾリンが、凝集効果を介してがん組織内に長期にわたり保持され、高い抗がん効果を示したことから、本薬剤を用いる新たな小線源療法の可能性を示しました。

今後は、前立腺がん組織のみならず、さまざまながん種あるいはがんのサイズに対応可能な小線源療法用薬剤の開発を進めていきたいと考えています。



腫瘍内に長期にわたり放射能が保持されることで高い治療効果を実現

◇ 本受賞に関連する受賞

日本薬学会医療薬科学部会主催の第11回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウムにおいて、優秀発表賞を受賞(2019年6月24日付)
受賞タイトル 「熱応答凝集性ポリマーを基盤とする小線源療法用薬剤の開発」

研究活動

受賞報告 製剤学研究室 田中 晶子 特任助教

第27回 DDSカンファレンス Postdoctoral Sessionにおいて、
The 27th DDS Conference, Shizuoka Postdoctoral Presentation Award 2018を
2018年9月7日付で受賞しました。



製剤学研究室
田中 晶子 特任助教

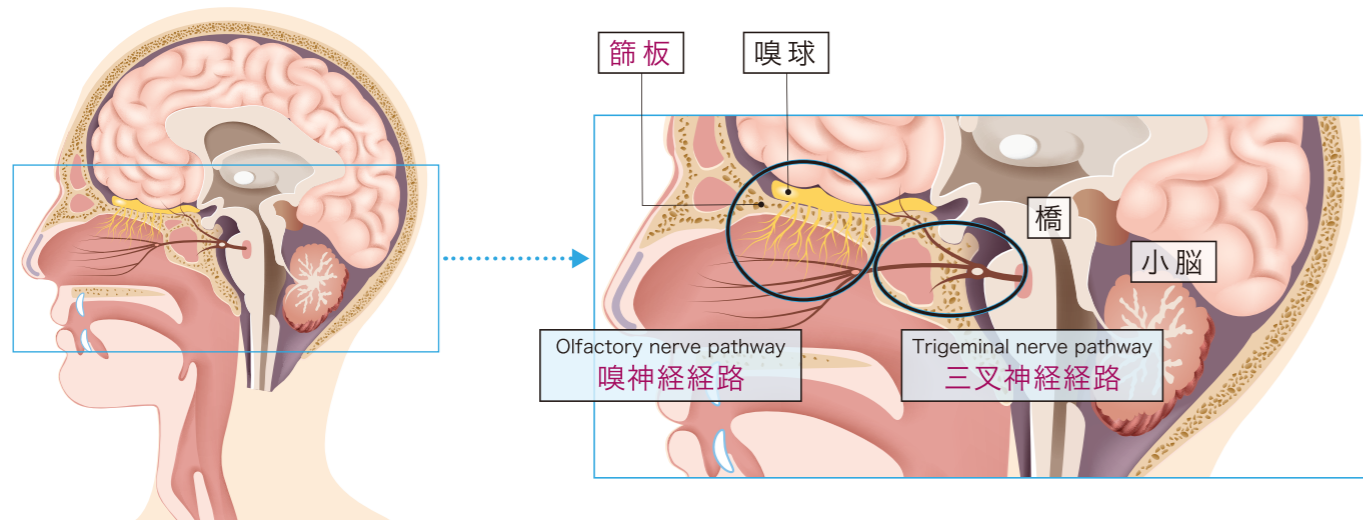
受賞タイトル

「生理活性ペプチドの鼻腔内投与による脳への送達と疾病治療への応用」

一般に、生理活性ペプチドは多様な作用を持ち、活性が高いため、中枢疾患の治療薬として魅力的です。しかし、水溶性で、分子量が大きいため、静脈内注射や経口投与などの通常の投与方法では、脳への移行性が低く、中枢作用を得ることは困難です。一方、鼻腔はペプチド性医薬品の投与部位として注目を集めておりますが、同時に、脳組織を取り巻いて存在する脳脊髄液 (CSF) との直接的なつながりを示唆する実験事実が多く報告されています。つまり、鼻腔内投与することで、血液脳関門を回避して、生理活性ペプチドを直接CSFあるいは脳に送達することが可能と考えられます。本研究では、分子量約 1000 Da の2種類の生理活性ペプチド、CPN-116(ニューロメジン誘導体)と oxytocin (OXT) に注目しました。これらの生理活性ペプチドを鼻腔内投与することで、脳内送達を実現し、薬理効果を指標に臨床応用の可能性を明らかにしました。これらの研究成果に対し、第27回 DDSカンファレンスにおいて、Postdoctoral Presentation Award 2018を受賞いたしました。

生理活性ペプチドの鼻腔から脳への直接移行経路による送達の可能性

鼻腔から脳への薬物の直接移行経路としては、脳から鼻腔に伸びる2種類の神経の関与が報告されています。その神経とは、嗅神経と三叉神経です。嗅神経は頭蓋内の嗅球から伸びて、篩板を介して、鼻腔側へ貫通しています。嗅神経経路はこの嗅神経周辺を介して、あるいは篩板付近にまで分布するCSFを介して、脳へ移行する経路です。一方、三叉神経は延髄から伸びて鼻腔まで到達しており、三叉神経の周囲を介して薬物が移行する経路です。薬物がCSFに移行した後の脳内動態には、glymphatic systemと呼ばれる細胞外液の脳内循環システムの関与が示唆されています。この循環によって、脳表面CSF中のペプチドが脳内深部まで到達する可能性が指摘されています。



CPN-116, OXT を鼻腔内投与、静脈内投与、腹腔内投与して、その後の血中濃度と脳内濃度を比較しました。静脈内投与、腹腔内投与と比べて、鼻腔内投与後の脳内濃度が高いこと、また、鼻腔の近傍に位置する嗅球において最も高い濃度を示すことを明らかにしました。更に、脳への全移行量に対する直接移行量の割合を算出したところ、OXTでは95%以上、CPN-116では80%以上であり、ペプチドが鼻腔から直接脳に移行する可能性が明らかとなりました。更に薬理効果を指標にした評価においても、鼻腔内投与の優位性を確認することができました。以上の結果より、鼻腔は生理活性ペプチドの脳内送達を可能にする新規投与部位としての可能性を秘めており、鼻腔内投与は脳へ薬物を送達するための簡便かつ有効な手段であることが示唆されました。

◆ 本受賞に関連する受賞

日本薬学会 2018 年度第 2 回 Global Education Seminar 「Global Education Seminar Presentation Award 2018」を受賞 (2019 年 2 月 6 日付)

受賞タイトル

"Delivery of bioactive peptide from nose to brain for the treatment of CNS disorders"

学生の受賞・表彰

学会や研究会などで研究成果を発表し、受賞を果たした学生を紹介します。

2019年3月20日(水)から3月23日(土)に開催された日本薬学会第139年会において、本学の学生2名が優秀発表賞(ポスター発表の部)を2019年3月31日付で受賞しました。



6年 忍海邊 梨紗さん
(医薬品情報学研究室)



受賞タイトル
「PMDA 添付文書情報検索サイトにおける糖尿病薬識別コードの登録様式の多様性」



6年 因師 まゆ香さん
(微生物化学研究室)



受賞タイトル
「分泌因子 Neudesin のがん免疫抑制作用について」

エクステンションセンター

「生涯研修支援プログラム」のパンフレットをリニューアルしました。
生涯研修、健康食品領域研修の各内容がより詳しく、分かりやすくなりました。



「生涯研修支援プログラム」のパンフレット

分野別にページを設けました。
日程や各講座のテーマ、講師など、
興味のある講座の情報が得られやすくなりました。

神戸薬科大学は、一つの機関において「生涯研修認定制度」(G07)、「健康食品領域研修認定薬剤師制度」(P05)と2つの分野の認証を取得した日本初のプロバイダーです。

今年度、エクステンションセンターが開催している生涯研修講座・健康食品領域研修講座の開催予定をまとめた「生涯研修支援プログラム」のパンフレットをリニューアルしました。

新パンフレットは、年間スケジュールに加えて、生涯研修講座、健康食品講座のページをそれぞれ設け、開催日程や講座のテーマや講師など、より詳しい情報を掲載しています。判型をA4サイズに大きくして8ページに増頁したことで、文字が大きくなり見やすくなりました。

本学の生涯研修支援の歴史は伝統があり、教育、研究に次ぐ3本目の事業の柱です。卒業後の技術研鑽に活用していただけるように随時アップデートしています。

本パンフレットの送付及び各講座についての詳細等は、
下記の電話番号及びホームページで受付けております。
お気軽にお問い合わせください。

お問合せ先
TEL.078-441-7627(直通)

ホームページはこちら▶

